

第6回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）オンライン

講演：『認定栄養ケア・ステーションからの管理栄養士の終末期支援』

講師：認定栄養ケア・ステーション いのり 管理栄養士 山里 瑠美 氏

○日 時：令和6年3月21日（木） 午後7時00分～8時30分

○場 所：Zoomを使用したのオンライン研修会

○参加者：30名

（看護師8名、薬剤師4名、栄養士2名、リハビリ2名、
ケアマネジャー・ケアプランナー6名、学生2名、その他6名）

- 【目的】①那覇市における在宅医療を推進し、切れ目ない提供体制を構築するため、在宅医療に必要な基本知識を体系的に学ぶ。
②各職能団体と連携することにより多職種チームビルディングの促進を図る。
③在宅医療同行訪問研修を組み合わせることにより、在宅医療の実際について学び、連携を強化する。
④感染対策のため、オンラインにて研修会を実施する。より多くの専門職に学んでいただくために事後配信も行う。

【対象】医療・介護関係者

【方法】Zoomでの研修会、グループワーク（事例検討 ⇒ 多職種それぞれの視点から意見交換）

【考察】参加者アンケートでは、終末期で訪問栄養が行っていること、また、他の専門職との関わりについて、参加者全員が理解できたとの回答であった。参加者より、「終末期を3段階に分けて考えるという新しい視点が勉強になった。特に前悪液質の段階での介入について、もっとできることがあるんだ、その時期に何をすべきか考え、介入することの大切さに気付いた」、「先を見据えて適正な対応を取れるようにならないといけないなと改めて実感した。体力を戻すのではなく、次は褥瘡予防に切り替えるなど、今まで実践出来ていなかった為、切り替えも視野に入れて訪問看護に活かしていきたい」、「治療・生活する上で口からの栄養摂取の必要性は理解していたが、終末期においても早期での管理栄養士の介入が、これほど予後に影響すると思ってなかった。最期まで食べたいものを食べる大切さが延命治療の1つだと実感した」というご意見があり、今回の研修会を通して、様々な気付きや新たな視点、早期介入の大切について学びになったと思われる。次年度は感染対策に配慮しながら、より連携を深めることを目的として、参集型開催で顔の見える関係づくりを目指していく。



講師：山里 瑠美 氏



日 時：令和6年3月21日（木） 19：00～20：30

場 所：Zoomによるオンライン研修会

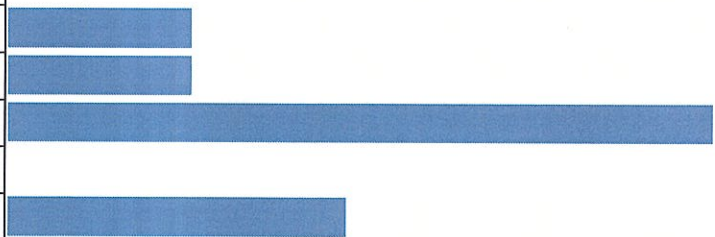
講 師：認定栄養ケア・ステーション いのり 管理栄養士 山里 瑠美 氏

参加者：30名（看護師8名、薬剤師4名、リハビリ2名、栄養士2名、ケアマネジャー・プランナー6名、
 学生2名、その他6名）

アンケート回答者：8名

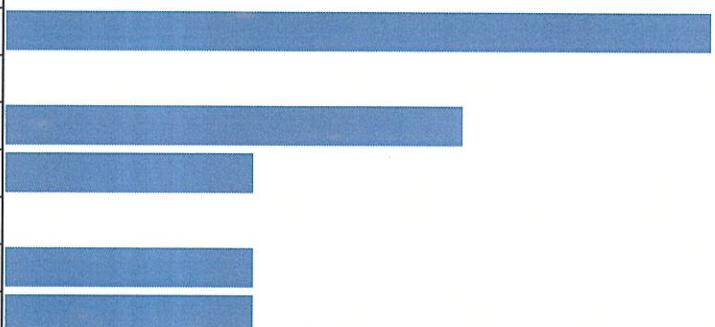
1. 経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	1	13%
6～10年未満	1	13%
11～20年未満	4	50%
21～30年未満	0	0%
31年以上	2	24%
総計	8	100%



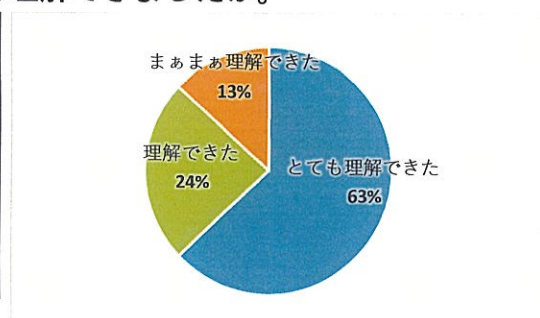
2. 職種の内訳

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	3	37%
保健師	0	0%
薬剤師	2	24%
栄養士	1	13%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	1	13%
リハビリ	1	13%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	0	0%
歯科衛生士	0	0%
その他	0	0%
総計	8	100%



3. 領域別セッション「訪問栄養」について理解できましたか。

選択肢	人数	割合
とても理解できた	5	63%
理解できた	2	24%
まあまあ理解できた	1	13%
理解できなかった	0	0%
総計	8	100%



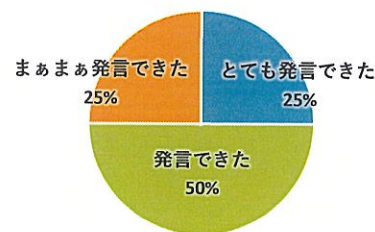
4. 講演：『認定栄養ケア・ステーションからの管理栄養士の終末期支援』

(講師：山里 瑠美 氏) について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・終末期の支援について、勉強になりました。
- ・終末期を3段階に分けて考えるという新しい視点を教えていただき、とても勉強になりました。特に、前悪液質の段階での介入について、もっとできることがあるんだと思いました。その時期に何をすべきか考え、介入することの大切さに気付きました。今後の看護の課題としていきたいと思います。貴重な事例も紹介いただきイメージしやすかったです。ありがとうございました。
- ・分かりやすいスライド、説明ありがとうございました。
- ・終末期における、食事の重要性を再確認することができ、勉強になりました。
- ・癌の経過で体力が落ち食欲が下がった患者に対して栄養をつけようと高カロリーなどを浅はかな理由で提案していましたが、次はどのような事が恐らく起きるからこうしようなど先を見据えて適正な対応を取れるようにならないといけないなと改めて実感しました。体力を戻すのではなく、次は褥瘡予防に切り替えるなど今まで実践で出来ていなかった為、切り替えも視野に入れて訪問看護に活かしていきたいと思います。素晴らしい講義ありがとうございました。お疲れ様でした。
- ・事例への介入の実際をご紹介いただき、終末期においても管理栄養士の介入の重要性を感じました。
- ・治療・生活する上で口からの栄養摂取の必要性は理解していましたが、早期での管理栄養士さんの介入が、これほど予後に影響するとは思っていませんでした。最期まで食べたいものを食べる大切さが延命治療の1つだと実感しました。ありがとうございました。
- ・自費利用での料金が知りたいと思いました。

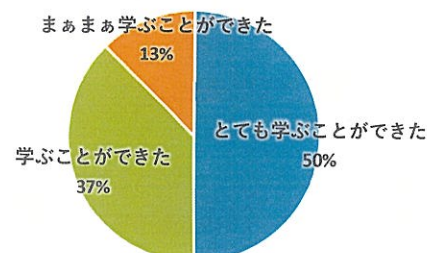
5. グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とても発言できた	2	25%
発言できた	4	50%
まあまあ発言できた	2	25%
発言できなかった	0	0%
総計	8	100%



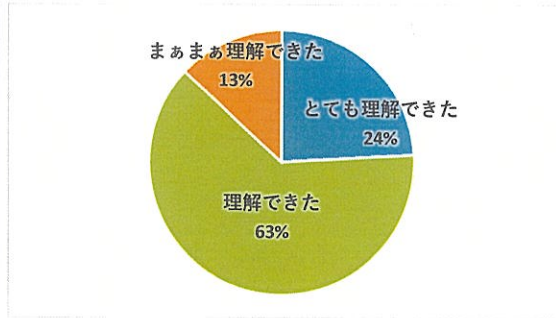
6. 在宅医療・介護の視点について学ぶことができましたか。

選択肢	人数	割合
とても学ぶことができた	4	50%
学ぶことができた	3	37%
まあまあ学ぶことができた	1	13%
学ぶことができなかった	0	0%
総計	8	100%



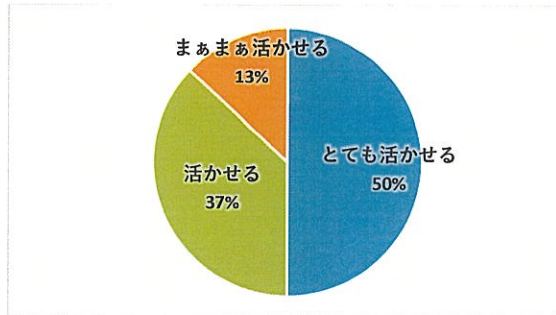
7. 多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とても理解できた	2	24%
理解できた	5	63%
まあまあ理解できた	1	13%
理解できなかった	0	0%
総計	8	100%



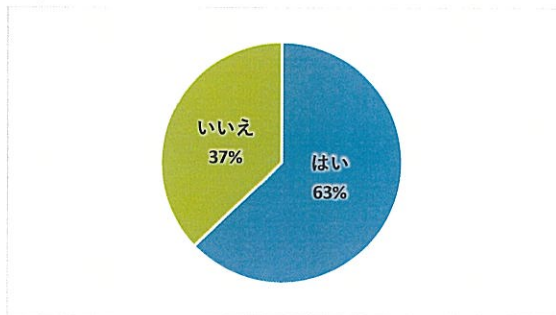
8. 明日からの業務に活かしますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	4	50%
活かせる	3	37%
まあまあ活かせる	1	13%
活かさない	0	0%
総計	8	100%



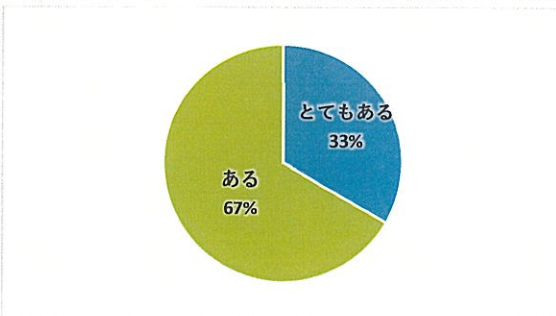
9. 現在、在宅医療・介護に従事していますか。

選択肢	人数	割合
はい	5	63%
いいえ	3	37%
総計	8	100%



10. 在宅医療・介護に関心がありますか。(問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とてもある	1	33%
ある	2	67%
まあまあある	0	0%
ない	0	0%
総計	3	100%



11. 今後、在宅医療・介護に関わってみたいと思いますか。

(問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とても思う	0	0%
思う	3	100%
まあまあ思う	0	0%
思わない	0	0%
総計	3	100%

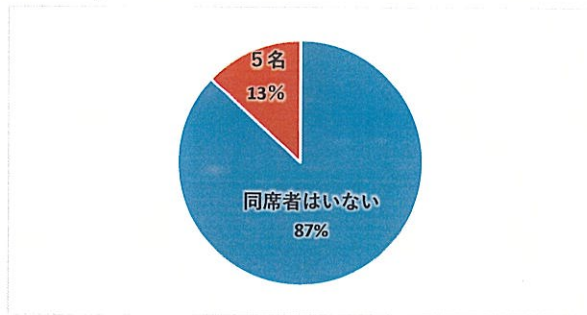


1 2. 今回の在宅医療・介護スクラム塾の全体を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・他職種で話した内容などは在宅医療で明日にでも実践できる内容でした。
- ・他職種の意見を知ることができ、勉強になりました。
- ・他の職種の方々や、同業種の方々の様々な視点からの考えなどたくさん聞くことができ、新しい知識・発見がありました。ありがとうございました。
- ・グループの発表者は、皆で議論した内容の記録が見れず、発表時に困ると思いました。
- ・第1回から参加しましたが、演者や参加された方々ありがとうございました。学ぶことが多く、たくさんのお話できて良い思い出となりました。

1 3. 受講時、同席者は何名いらっしゃいましたか。

選択肢	人数	割合
同席者はいない	7	87%
1名	0	0%
2名	0	0%
3名	0	0%
4名	0	0%
5名	1	13%
6名以上	0	0%
総計	8	100%



1 4. 同席者の職種について教えてください。（問13で同席者の数を回答した方への質問）

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	1	20%
保健師	0	0%
薬剤師	0	0%
栄養士	1	20%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	1	20%
リハビリ	0	0%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	0	0%
歯科衛生士	0	0%
その他	2	40%
総計	5	100%

